

【加盟団体紹介】

神奈川県ハンドボール協会

会長 塩谷 和雄

我が国では、1938年(昭和13年)に現日本ハンドボール協会の前身である日本送球協会が設立され、11人制によるハンドボール競技の普及が始まりました。こうした中、神奈川県ハンドボール協会は、1948年(昭和23年)11月に保坂周助初代会長のもとで産声を上げました。1950年代の後半以降、7人制による室内ハンドボール競技へと進化を遂げ、当協会の運営も第二代若崎重富―第三代斎藤達也―第四代佐分正典各会長へと連綿と受け継がれ、今日に至っています。

さて、2017年度(平成29年度)は、法政大学第二高等学校男子ハンドボール部が春の選抜・インターハイ・国体の全国三冠を達成することができました。これは、1998年(平成10年)かながわ・ゆめ国体で横浜商工(現横浜創学館)高等学校が成し遂げて以来、19年ぶり3回目の快挙です。神奈川スポーツ賞や読売スポーツ賞なども重なり、思い出深い感動の一年となりました。



〈インターハイ男子決勝：法政二VS氷見〉



〈国体解団式における少年男子チーム：法政二〉

また、重点事業として「アスリート育成指導者講習会」を開催しました。第1回は6月に慶應義塾大学において、スペイン1部リーグ所属のトップアスリート等を招聘し、神奈川県JOC候補選手の実技を交え、指導者の研鑽を図りました。第2回は7月に浅野中・高校において、トップレフェリーとトップコーチによる講習会を開催しました。2回共に若手指導者の参加が多く、次世代トップアスリートの育成に向けた意義ある事業が展開できたと思っています。



〈第1回アスリート育成指導者講習会〉



〈第2回アスリート育成指導者講習会〉

今後はこれまでも増して、ハンドボール環境の基盤づくりに努めてまいります。当面は、ジュニアカテゴリーの充実、部活動との連携、連続性のある活動基盤づくり、社会人クラブの育成、国体に向けた強化(少年女子等)、体育館の確保、情報ネットワーク拡充等に取り組みます。

なお、2018年度(平成30年度)は、第34回関東少年少女大会が小田原市で、第64回関東高校選抜大会が川崎市で行われます。地元はじめ関係者の皆様にはお世話になりますが、よろしくご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

神奈川県アイスホッケー連盟

「神奈川県でアイスホッケー？」 アイスホッケーといえば北海道や日光などがすぐに頭に浮かびますが、ここ神奈川県でも実はそれら北の地域にも負けないほどアイスホッケーが盛んな地域です。選手登録人数は1,482人(2017年度)。チーム数は社会人43、大学4、高校3、ジュニア5、女子3となっていてそれぞれ春季秋季の大会が行われています。

神奈川県のアイスホッケー競技の歴史は、約70年前に東神奈川反町公園の地に県内初の公式規格の神奈川スケートリンク(現：横浜銀行アイスアリーナ)が建てられた時から始まります。以降、神奈川県アイスホッケー連盟設立とともに社会人大会・大学大会が始まり、競技人口も増え小学生からオールドタイマーまですべてのカテゴリーで大会が行われるようになりました。なかでも最大の大会は社会人の神奈川選手権で、全社会人チームが5部に分かれて6ヶ月間にわたりリーグ戦を行う試合数140となる大きな大会となっています。

連盟執行部は会長以下20人の理事で、担当部門にわかれ運営が行われています。業務内容は、大会運営、県代表チームの編成と強化、ジュニアと女子の普及と強化、オールドタイマーの普及、そしてインラインホッケー部門などにわたっています。加えて、日本アイスホッケー連盟の事業としてアジアリーグ関連大会や関東大会・全国大会が神奈川県で行われるときは、その運営の主管を担っています。

競技場であるスケートリンクの現状を見ますと、アイスホッケーのできる公式規格のリンクは県内に3箇所しかありません。幸にどれも通年(1年中)営業のリンクであるので、季節に関係なく練習ができます。県内の数十チームあるいは県外のチームもふくめて、この数少ないリンクをゆずりあって練習や大会を行っているのがきびしい現状です。サッカーや野球など他のスポーツのように、どこでも練習できるという競技ではありません。競技を楽しむには氷が必須であるという特色から、競技人口はここ数十年あまり変わらず推移しています。リンクの限られている現状これ以上の大きな競技人口の増加や発展は望めないところが苦しいところです。競技の発展のためにスケートリンクの増加が連盟の永きにわたる願いです。

この1月には体育協会はじめ関係所管とアイスホッケー連盟協力のもと第73回冬季国体(アイスホッケー部門)を神奈川県で開催することができました。アイスホッケー連盟にとってこの上ない実績と経験になりました。また、選抜選手による県代表チームが一般、少年それぞれで地元の声援を受けて好成績をおさめることができました。紙面を借りて御礼申し上げます。

(筆：理事 鍵和田 和明)



横浜銀行アイスアリーナでの試合



神奈川県 国体代表チーム(成年)